

第3回 水が伝える豊かな農村空間

～疏水・ため池のある風景 写真コンテスト～

田んぼや畑に水を送る「疏水(農業用水)」や「ため池」は、先人のたゆまぬ努力により形づくられてきました。そして、本来の役割である食料生産のみならず、生態系保全など様々な役割を果たしつつ、いまなお日本人の原風景とも言うべき美しい風景を創り出しています。

このコンテストは、疏水・ため池の価値や役割、機能を、写真を媒体として、広く国民の皆様を知っていただく開催しています。昨年度より若年層にも参加が広がるようにするため、U-18賞を新設しました。全国各地から応募をいただいた作品について審査を経て入賞作品を決定しました。



◆審査委員長 織作 峰子氏 選評

今年度は、応募数が増え、撮影シーンも様々でバリエーションも豊かでした。

社会での活動が盛んになることにより、カメラ片手に出かける機会も増えて、更に素晴らしいショットが生まれるでしょう。この風潮がこれからも続けばいいと思います。

疏水やため池によって私たちの生活が支えられ、守られている、撮影した方々が感じたであろうその思いが、作品を通じて皆様に伝わることを願っています。



審査委員長

大阪芸術大学教授 織作 峰子氏

審査委員

農林水産省農村振興局長 長井 俊彦氏

全国水土里ネット土地改良広報センター所長 牧 千瑞

写真 審査風景

左から織作委員長、長井委員、
全国水土里ネット室本専務理事、牧委員

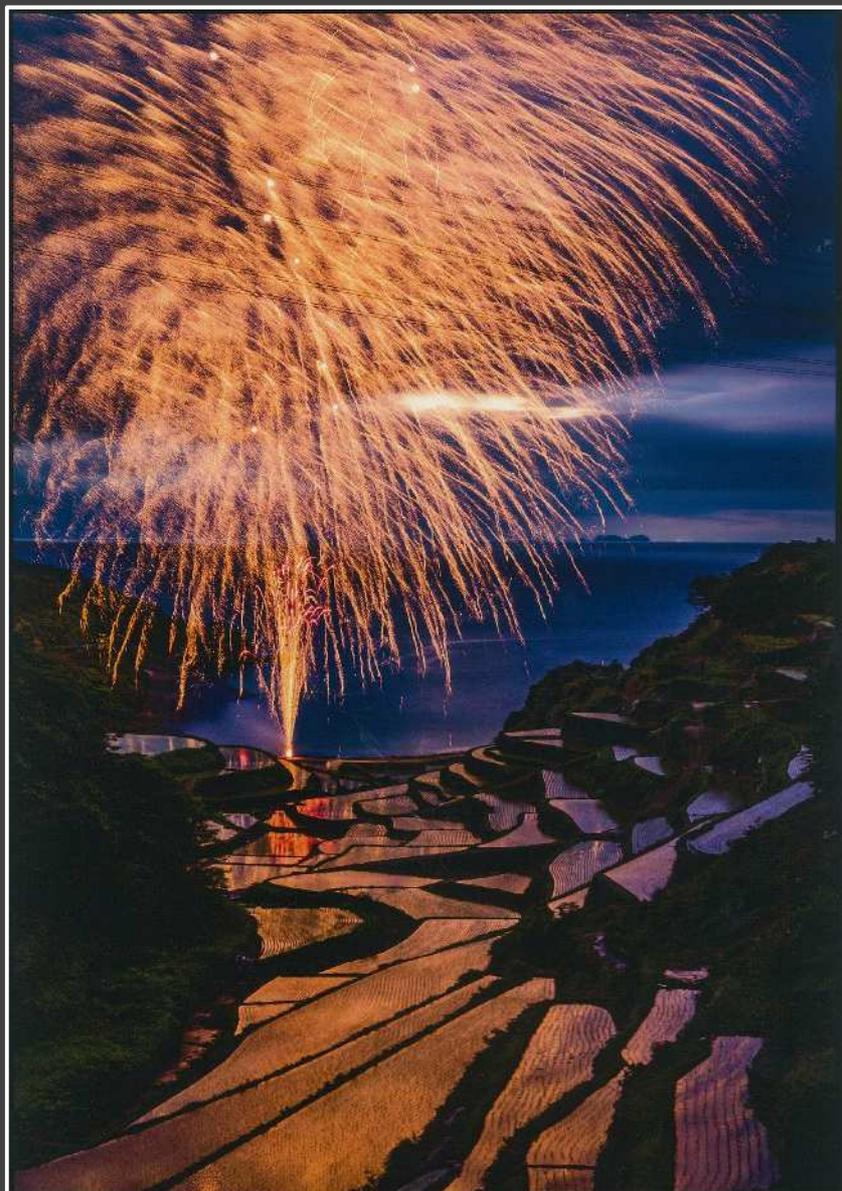
主 催： 全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）
疏水ネットワーク、全国ため池等整備事業推進協議会
後 援： 農林水産省

疏水部門 最優秀賞

題名 「願いをこめて」

撮影場所 浜野浦の棚田 (佐賀県玄海町)

撮影者 瀧石 美津恵 (福岡県)



(選評)

サプライズ花火に遭遇したというラッキー感が、とても大きな花火と相まって迫力のある作品になりました。地面と空、雲がっぺんに明るくなった瞬間、ファインダーの向こうに広がる棚田の存在に撮影者は圧倒されたのではないのでしょうか。

棚田を支える方々への、そして地域の農業を支えてきた棚田への感謝の心が伝わってきます。最優秀賞にふさわしいパワーを感じます。

疏水部門 農村振興局長賞

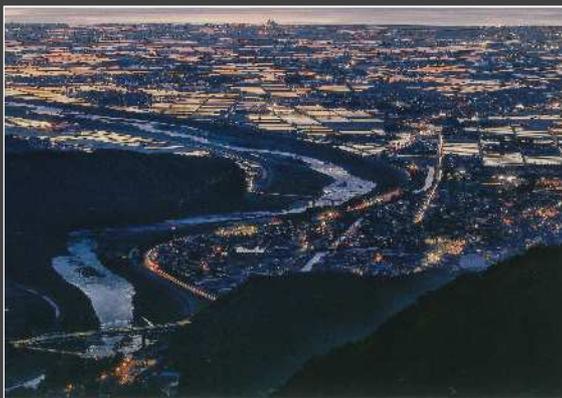


(選評)

疏水の行き着く先、水を張った水田でのどろんこイベントのようです。若者や外国の方もいるでしょうか。多様な参加者がうれしそうに笑顔でどろんこ遊びしています。後ろに倒れ込む寸前の斜めの感じもいいですね。勢いのあるとても楽しい作品です。

題名 「どろんこ遊び」
撮影場所 御明神地区・水田（岩手県雫石町）
撮影者 村上 吉秋（岩手県）

疏水部門 全国土地改良事業団体連合会会長賞



(選評)

整備された水田に夕焼けが美しく反射しています。

この水の豊かさが美味しいお米をつくっている、という気概を感じます。高所から撮影したアングルも素晴らしいと思います。

農業用水がくまなく水田に行き渡っているという、今日の日本の姿を象徴する作品です。

題名 「水田に映る夕暮れ」
撮影場所 手取川七ヶ用水（石川県白山市）
撮影者 中村 則夫（石川県）

疏水部門 U-18賞



題名 「観桜」
撮影場所 岩木川右岸用水
(青森県弘前市)
撮影者 今井 史人 (青森県)

(選評)

弘前公園の満開の桜の中、用水を渡る橋の上をたくさんの方が行き来しています。ここでは花びらで濠を埋め尽くすほどの「花筏(はないかだ)」が話題となっています。立ち止まり写真を撮っている人も、良く見ると水面に向けてシャッターを切っています。

用水に映る桜や花筏は用水があってこそ、という撮影者の気持ちが伝わる、華やかで気持ちが高揚するような作品です。

ため池部門 最優秀賞

題名 「霧の大井池」

撮影場所 大井池 (愛知県幸田町)

撮影者 篠田 光雄 (愛知県)



(選評)

四季を通じて豊富な水を蓄える大井池に、明け方の空気が霧となり、清廉で神々しい雰囲気を出しています。色彩的にも赤と緑のコントラストが非常に美しい作品です。

田んぼに浄化された水が届けられ、お米が実ることが、実は奇跡のようであり、それは神事にもつながるというイメージを感じさせます。

ため池部門 農村振興局長賞



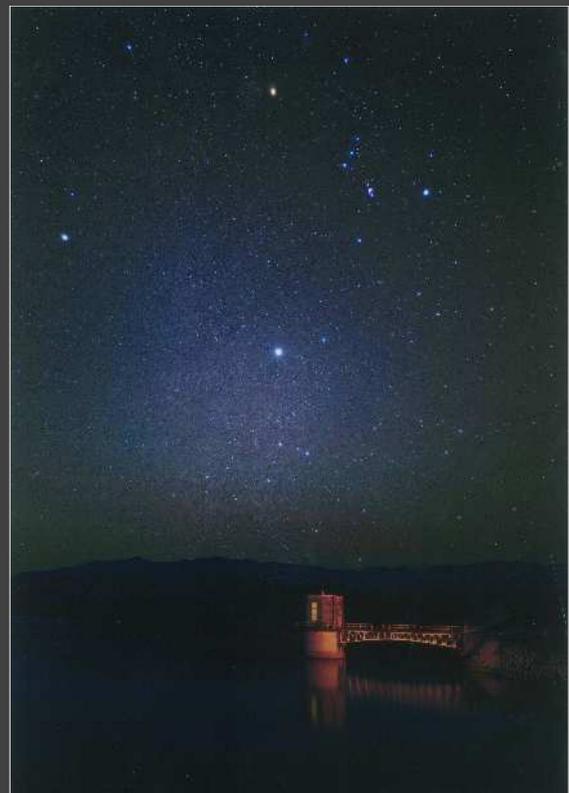
題名 「早春に誘われて」
撮影場所 白川湖
(山形県飯豊町)
撮影者 綿引 友子 (茨城県)

(選評)

新緑の頃がベストシーズンの撮影ポイントとしても話題になっている場所です。水田を潤す水、その湖面にボートが浮かび憩いの場が形づくられていることが印象的です。緑の山並みと湖面の色合いが美しく、とてもきれいな景色を表した作品です。

ため池部門 全国土地改良事業団体連合会会長賞

題名 「悠久の時を感じて」
撮影場所 満濃池
(香川県まんのう町)
撮影者 松永 芳基 (香川県)



(選評)

日本最大のため池、満濃池。その中央にライトアップされている施設は、農業用水をここから取る、という重要な施設です。星空とのコントラストも素晴らしく、普段あまり意識されない施設について、神秘的でシンボリックな世界観が表現されています。農業の大切さをクローズアップさせたいという撮影者の意図を感じます。

ため池部門 U-18賞



題名 「下池の白鳥」
撮影場所 下池
(山形県鶴岡市大山)
撮影者 石崎 朝光 (山形県)

(選評)

撮影者は、田んぼに積もった雪が地吹雪になっているときに、ため池の風の当たらない場所を選んで休んでいる白鳥を見つけました。

春の風景を知っているからこそ田んぼとため池を結んで考え、興味をひかれ撮影したのではないのでしょうか。大自然の中で白鳥たちが集まって語らっているような、そんな楽しい雰囲気を感じられる作品になりました。構図もしっかりとしています。

疏水部門（入選）



「キャンドルナイト」
石部赤根田村百笑の里
(静岡松崎町)
藤井昭浩 (静岡県)



「夕暮れの円形分水」
出雲井堰・井之口円形分水
(滋賀県米原市)
山崎秀司(兵庫県)



「溢れる水と軽やかな足どり」
万之瀬川岩屋公園
(鹿児島県南九州市)
内田則夫(鹿児島県)



「家路を急ぐ黄昏時」
伊佐沼(埼玉県川越市)
須藤康男(埼玉県)



「アジサイの咲く水路」
宮荘川(滋賀県東近江市)
岡本聖(京都府)



「憩いの遊水路」
馬見ヶ崎川合口頭首工
(山形県山形市)
高橋俊二(山形県)



「木曾川に咲く」
犬山頭首工(愛知県犬山市)
早川幸夫(愛知県)



「やいすく」
蛭川(大分県中津市)
餘野照彦(大分県)

ため池部門（入選）



「目覚めのため池」
 広沢池（京都府京都市）
 小和泉 春男（京都府）



「静寂の時」
 加古大池（兵庫県稲美町）
 梅津 郁朗（兵庫県）



「ため池競技会」
 遠野田んぼ池（福島県いわき市）
 門林 美津江（福島県）



「空になった池」
 宮溜調整池（滋賀県東近江市）
 木下 三千代（滋賀県）



「ため池の番人」
 三井木場池（長崎県東彼杵町）
 田口 久敬（長崎県）



「花に囲まれて」
 月見ヶ池（山梨県上野原市）
 星野 郁男（山梨県）



「霜の朝」
 伊豆沼（宮城県栗原市）
 日野 諄（山形県）



「こんにちは！」
 岡田大池（岡山県倉敷市）
 平田 晃一（岡山県）